

各校生徒会のみなさん、こんにちは。

県立学校には、毎年一度はお邪魔して、みなさんの授業中の様子や活動を見せていただいているのですが、なかなか直接お話しする機会がないので、この生徒会連絡会にずっと参加したかったんです。やっと念願が叶いました。引率の先生方が周りにいらっしゃると、言いたいことが言いにくいのではと心配していましたが、結構平気でしたね。

高校生活はいかがですか。中学校とはかなり違いますよね。一番大きな違いは、高校生はみんな、在学中に成人することです。つまり高校は、成人と、間もなく成人という人たちがいるところ、社会を担う準備をしっかりとするところですよ。そういう意味では、より多くのことを自分たちで決めてよいと思いますので、私はいつも校長先生方に、生徒のみなさんにより多くの裁量を与えてほしいとお伝えしています。

私は高校生の時、自分のことで精一杯でしたが、みなさんは、学校をよくするために頑張ってください。だから、生徒会のみなさんはカッコいいなと思います。身近な人を幸せにできないようでは、社会全体の幸福を実現することなどできません。自分たちの学校をよりよい学校にして後輩につないでいく。では、「よい学校」とはどういうものか。それも含め、みなさんでよく考え、よく話し合い、よく行動するよう心掛けてください。

今日のみなさんのグループ討議を聞いていますと、主に校則と学校行事についての話題が多いように思いました。ただ、よその学校でやっていることがよさそうだというだけで、そのまま自分の学校に導入しようとはしないはずですよ。なぜ自分の学校がそうなっているのか、それにも意味があるはずですよ。それを理解した上で、なぜそうしたいのか、その目的と期待される効果を説明できるようにし、それにより生じるリスクも考えて、企画書のようなものがあればなおよいですが、先生方と話し合えばよいと思います。もちろん、すべてがうまく行くかというと、そう簡単ではありません。うまく行かなくてもくじけず、よい目的なら手段を変えて実現に向けて頑張ってください。

みなさんは基本的に自分の学校がすべてですから、今やっていることでいいのだと思ってしまいがちです。しかし、今日は学校が違えばいろいろと違うものだということを知ったと思います。よい影響を与え合う機会として、この横のつながりは貴重です。奈良県の高校すべてが素敵な学校になるよう、みなさんの活動に期待しています。